

2016年度都市住宅学会関西支部 通常総会・記念シンポジウム

日時：2016年4月16日（土）

会場：ナレッジキャピタル・カンファレンスルームC04
(グランフロント大阪 北館 タワーC 8階)

■通常総会 13:00～13:45（受付12:45～）

■記念シンポジウム 14:00～17:00（受付13:45～）

ストック時代の都市住宅プロジェクトリノベーションか建替えか—

ストック重視の住宅政策が目指されるようになって久しい。この間、スクラップ&ビルトから脱却し、ストックをより長く、有効に活用するための方法が探られてきた。また、それが環境負荷を低減する循環型社会の構築や成熟型都市社会に求められる豊かさの実現に貢献すると考えられてきた。

一方で、ストックが構築された時代と今日では、住まいに対するニーズが異なる。たとえば、高齢期になってから便利な場所に新たな住まいを求めて移動する者があらわれている。またシェアハウスが注目されるなど、新たな住まい方が指向され、住まいと施設の境界が揺らいでいる。その背後には、家族や地域のあり方の大きな変化がある。

ストックの有効活用とこれらの課題をクロスするとき浮かび上るのは、リノベーションと呼ばれるストック活用型プロジェクトである。建替えか保全かという二者択一ではないもうひとつの選択肢であり、建物の保全・活用に留まらない可能性をもつ。それでも、土地の高度利用が要請される市街地ではなお建て替えが優勢である。またリノベーションを含む保全型の都市再生にも、そこに長く居住していた者が居住移動を余儀なくされる等、新たな社会問題を提起する側面がある。

本シンポジウムでは、建替え事業と対比されるリノベーション事業の課題や可能性を探るため、近年の住宅プロジェクトを素材にして、そこで実現された価値やその受益者を探るとともに、再生型の都市住宅プロジェクトが社会的に評価され、さらに展開していくための条件や課題を議論したい。

14:00～14:10 趣旨説明 檜谷 美恵子（京都府立大学）

14:10～15:30 パネリスト報告

建築計画学の観点から・・・前田 昌弘（京都大学）

事業企画の観点から・・・川幡 祐子（大阪市住まい公社）

権利関係調整の観点から・・・村辻 義信（ウェルブライト法律事務所）

都市地理学の観点から・・・藤塚 吉浩（大阪市立大学）

15:30～15:40 休憩

15:40～17:00 ディスカッション

コメンテーター 大坪 明（武庫川女子大学）

三浦 研（大阪市立大学）

司会 檜谷 美恵子（京都府立大学）

◆ 参加費(資料代) 会員・学生 無料、会員外1,000円

■懇親会 17:30～ 会場：世界のビール博物館

(グランフロント大阪ショップ&レストラン 北館 B1)

会費：5,000円程度

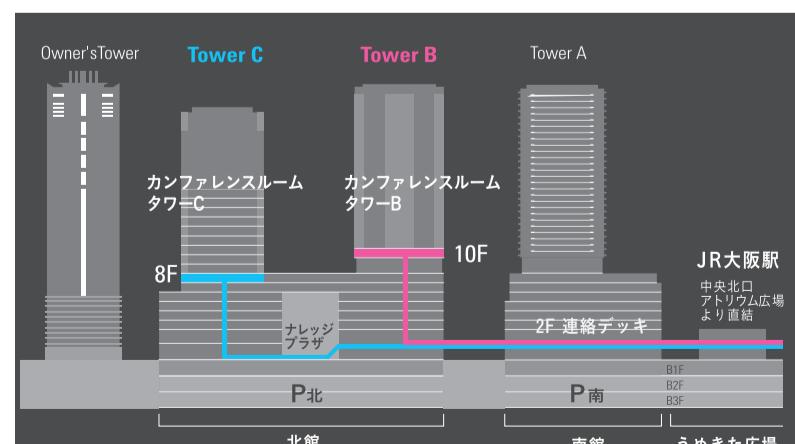
■会員の方：別途お送りしている出欠確認票で4月11日までに総会、記念シンポジウム、懇親会への出欠をお知らせください。総会に欠席される方は必ず委任状の提出をお願い致します。

■会員外の方：記念シンポジウムに参加を希望される方は4月11日までにメールにて事務局までお申し込みください（お名前・ご所属・懇親会への参加・不参加）。当日参加の場合は懇親会には参加できません。

■問い合わせ先：都市住宅学会関西支部事務局

TEL 06-62375-8045 FAX 06-6359-1329

E-mail:gakkai-west@urban-ii.or.jp



グラントフロント北館タワーC

JR「大阪駅」（アトリウム広場）…徒歩3分